



なは

広報

市民の友

2023年(令和5年)

第873号 毎月1日発行

10月

発行：那覇市 〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号 ☎(代表) 867-0111 印刷：丸正印刷株式会社 配布：那覇市シルバー人材センター

めざせ!
ちゅら那覇!

家庭ごみ排出量

前年同月比 Up

8月/1世帯あたり

1日 1.119kg



20th
Anniversary

特集

漫湖はおいでよ!

漫湖水鳥・湿地センター開館20周年記念

市民のみなさん
こんにちは!

ボクの名前わかりますか?

正解は、次のページを見てね!

漫湖水鳥・湿地センター

開館20周年

はいさい。みなさんは漫湖水鳥・湿地センターをご存知でしょうか?

同センターは、国場川のほとり(小禄側)に位置し、「ラムサール条約湿地」に登録された「漫湖」の自然と、その水辺に生息する生き物を観察・学習することができる施設です。

当該施設には、体験型のジオラマや映像で湿地を学ぶ展示スペースと、渡り鳥などを観察する観察デッキが設置されているほか、屋外にはマングローブ林の中を散策できる木道が整備されるなど、小さなお子様から高齢の方まで、誰もが気軽にご利用できます。

是非一度、ご来場いた

だき、本市が誇る自

然豊かな漫湖と、そ

こに棲む野生生物に

ついて知見を広げてみ



那覇市長 知念 寛

那覇市の人口と世帯

※()内はうち外国人

2023(令和5)年8月末現在

総人口 315,571人(6,293人)
男 152,758人(3,251人) 女 162,813人(3,042人)

世帯数 159,227世帯(4,373世帯)
住民基本台帳人口の内訳(外国人)



Catalog Pocket

カタポケ iPhone / Android

無料
Free App



「広報なは市民の友」を10言語で読むことができます。

FOREIGN
RESIDENTS
PORTAL



#なはとび

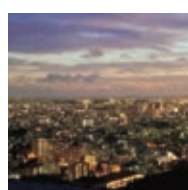
あなたが見つけた「なは」募集中!



いいね! ♥



いいね! ♥



いいね! ♥



うちなーぐち
や
あじくーたー

沖縄県沖縄語普及協議会 監修

【沖縄の肝心】

ちむちむちくわふー
肝もち果報

【意味】明るい良い心で過ごす、幸せになる。

まずは
準備だ!

生物発見の キーワードは「気配」と「感知」

干潟の生物を見つけるコツは、生物の「気配」を見逃さないことです。何気ない普通の景色の中にも、よく見てみると生物が隠れていたりします。その生物が出す気配に気づき「感知」すること、それが生物を発見する面白さです。

221

いざ
出発だ!

こんな街中で
あんな生き物
発見!

ムナグロ



ビューイ、
キョビツ

県内では最もよく見られるチドリ類。夏羽と冬羽で顔から胸にかけて羽の色が変わる。
夏羽:黒、冬羽:黄褐色

フタバカクガニ



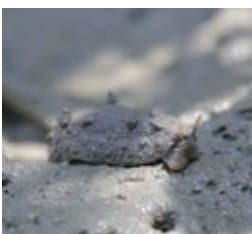
木登りするカニ。水の中が苦手。手で潮が満ちてくると、それを避けるように木に登り休む。観察のおすすめ時間帯は満潮時。

ミナミトビハゼ



魚の仲間だけど泳ぐのは苦手。威嚇や、オスがメスを誘う時に背びれを広げます。

ドロアワモチ



貝殻をもたない貝の仲間。そうめんのように細い線状の糞をするので、泥干潟の上の糞をたどると見つけれられるかも。

漫湖で新発見

メジリハゼ

日本ではココでしか見つかっていません。淡い色の体と体側に散りばめられた青い模様、背びれにある大きな黒い斑紋などが特徴。



水の中にいるので
簡単には見れません...

バーチャルツアー タッチ・デ・カンチ



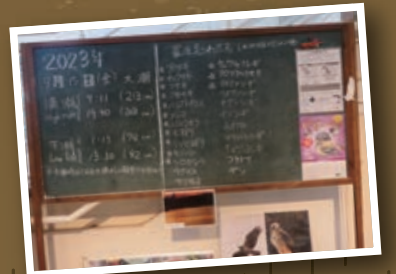
漫湖水鳥・湿地センターにある木道を、実際に探検しているような感覚が味わえます。指先ひとつでできる木道探検でマングローブと干潟の生物を見に行こう! (英語版もあるよ!)



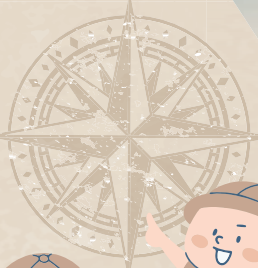
特集

漫湖水鳥・湿地センター開館20周年記念 漫湖日おいでよ!

2003年の開館から今年で早20年。周りの影響を受けて少しずつ環境が変わる漫湖を間近で見えてきたからこそ伝えたい思いがあります。この機会に改めて漫湖について考えてみませんか。



2023年8月に木道の一部がリニューアル!



オキナワハクセンシオマネキ



ベニシオマネキ



リュウキュウアシハラガニ

表紙は
ボクだよ

広告

「相続の相談がしたい。できればいつもの街で」

そんなあなたへ
お得な情報! なんでも話せる **相続無料相談会** はじめました

相続無料相談会【要予約】 10:00~16:30

弁護士法人 琉球法律事務所

住所 那覇市牧志2丁目16番46号
タカラマンションマキシー1(201号)

主催 弁護士法人琉球法律事務所

10月7日(土)・21日(土)・28日(土)

予約枠には限りがあります! まずはお電話を。

予約
受付時間

平日 9:00~17:30

ご予約:0120-927-122

琉球法律事務所 無料相談会



人の手によって変化してきた漫湖

漫湖とは

漫湖は、本市を流れる国場川と豊見城市を流れる饒波(のは)川の合流地点に形成された河口干潟で、干潮時に泥質干潟が出現します。

かつては、那覇港の奥に広がる入江で、船が往来し漁業が盛んでしたが、戦後の急速な都市化や周辺の開発、埋め立てにより、大量の土砂が流れ込み現在のような姿になっています。市街地の中にある比較的小さな干潟ですが、全国的にも有名なシギ、チドリ類の重要な渡来地として、また、多くの水鳥などの生息地として重要であるという理由から、1999年5月に全国で11番目、沖縄県では最初のラムサール条約登録湿地となりました。



マングローブのコントロール

戦後の開発などで土砂が流れ込み、干潟形成と水質悪化が進んだ漫湖。干潟形成により水鳥の飛来数は増加しましたが、環境変化により、わずかに自生していたマングローブが消失しました。その後マングローブの植栽をきっかけに、マングローブ林が急拡大し、干潟が陸地化したことで、水鳥の休息場所が減り飛来数が減少に転じました。現在では、森林機能の維持と水鳥や湿地の保護を両立させるため、マングローブの伐採や稚樹抜きを行うなど管理を継続しています。



ゴミ問題

漫湖に流れ着くゴミのほとんどは、もともと私たちの身のまわりにあったものです。毎年清掃活動を行っています。過去にはゴミの総重量が1年間で1.2トンに達したこともあります。ポイ捨てをしないことはもちろんですが、ゴミを出さないような工夫をしましょう。



漫湖の魅力、課題を多くの人に伝える

市民調査

干潟の環境は悪くなってきていると言われていますが、実は公的な調査がされていないのが現状です。そこで、市民の人たちにも協力してもらい、干潟の生物がどの程度、どのような種類がいるのかなどを毎年記録していく市民調査を行っています。この機会を通して底生生物の不思議さや奥深さを学ぶ機会にしたいかがでしょうか。漫湖の泥干潟には希少なキララハゼやメジリハゼが生息しているので、もしかしたら、まだ見つからない生物が見つかるかも!? ぜひご参加ください。



漫湖みんなで水族館

毎年、漫湖水鳥・湿地センターで開催される「漫湖みんなで水族館」は、普段は観察できない漫湖の水の中にいる生物を手網や投網で捕まえてきて期間限定で展示しています。国内では漫湖でしか見つからない生物などが見られる貴重な機会です。今年は、10月3日(火)～10月22日(日)の期間に当センター1階で開催します! 入場は無料です。



ラムサール条約

(正式名称:特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)

渡り鳥や魚など、色々な生き物がすめるような、湿地を守るための条約です。

交流・学習

保全・再生

ワイスクーメ(西表島)マシ

漫湖の持続可能な開発のために

マングローブの染物体験

もともと西表島などで行われていた伝統工芸、マングローブ染め。昨今は、マングローブが保護の対象となり材料の入手が困難ですが、漫湖には湿地の維持管理のためにやむを得ず取り除いたマングローブがあります。それらを利用しマングローブ染めを行うことで、マングローブの有効活用に努めています。



マングローブの木工体験

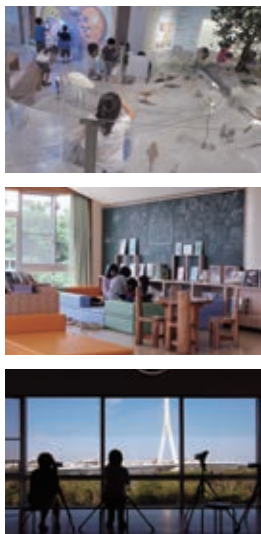
地域の作家さんや工場、工房などに協力を依頼し、マングローブで作るペンや箸など木工体験も企画中です。保護の対象となっているマングローブの加工品は、世界中でみても珍しいものです。このような付加価値のある木工製品を販売し、その収益を湿地保全事業に使い、保全活動の持続および促進を目指します。



漫湖水鳥・湿地センター

豊見城市宇豊見城982
【開館時間】9時～17時(入館無料)
【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
年末年始(12/29～1/3)、
慰霊の日(6/23)
☎840-5121

かつての入江から泥干潟へ変化した現在の漫湖に対する意見は様々です。目の前の良さを理解しつつ昔の視点や未来のビジョンを共有することが大切です。ぜひ、漫湖に来て、今のありのままを見て、「イイね!」と思える何かを見つけ大事にしてください。それが結果として環境を守ることになります。センターでは湿地を使ったアクティビティ体験の充実と、周辺施設も含めた協力体制を整え、漫湖一帯がより一層盛り上がり、市などの関係機関を含めて「つながりの場」を構想中です。漫湖の問題は上流も含め考える必要があるため、漫湖の魅力が高まれば、周辺地域の人たちにも良さが伝わり、保全活動の促進に繋がります。そして、最終的には漫湖を拠点とした国場川流域一帯の新たな魅力を創造していきます。まずは、センターに足を運び、気になる企画やイベントを見つけて参加してください。



水鳥と湿地と人をつなぐ場所

県内の泥干潟は、漫湖の他に屋我地島周辺や豊崎干潟がありますが、気軽に干潟に下りて観察ができ、そこで見た生物をすぐに調べたりできる施設があるのは漫湖だけです。その施設である漫湖水鳥・湿地センターには、漫湖の生態系が一目でわかる縮小模型(ジオラマ展示)や図書コーナー、展望室があります。



FPフォーラム2023

FPと始めよう

これからの資産形成

来年からのNISA抜本拡充をねらって

セミナー

個別
相談会

ワーク
ショップ

展示
コーナー

個別相談会、
ワークショップは
事前予約が必要です。
締切:11月3日(金・祝)

イベント詳細、お申し込み方法については、ホームページでご確認ください

2023
11/11(土)

時間 10:00～17:00

場所 ジャパン玉石けん くる糸満
糸満市潮崎町1-1-2(糸満市役所となり)

お電話でのお問合せ

☎0120-725-012

【通話無料】10:00～17:00(土日祝除く)

インターネットでのお申し込み

二次元コードから簡単お申し込み▶

FP協会 沖縄

https://www.jafp.or.jp/shibu/okinawa/seikatsu/seminar/detail/okinawa/16



広告